

第19回（2年）

1. 日 時：令和5年11月22日（水）
2. 場 所：へきしんギャラクシープラザ
プラネタリウム
3. テーマ：「秋の星座めぐり」
4. 講 師：浅田 英夫先生
（浅田工房代表）
5. 出席者：26／29名
6. 内 容

○星座の見方

市内の午後9時を基に星座の見方について学ぶ。秋の星座は、東に火星、南に木星、西に土星を見ることができる。

○晩秋の夜空に輝く土星・木星は、強大な惑星というだけでなく、地球上の生命の存在と深くかかわっている。土星や木星が地球の外側を回ってくれたおかげで、地球には知的生命体が誕生し、生き延びているといってもいいだろう。

○土星や木星は、ガスの塊である。その組成のほとんどは水素ガスである。地球は硬い石や土でできているので、太陽に似ているといってもいいだろう。

7. 感 想

実際にはたくさんの星が輝いているのに、地球上のあたりがそれを見えにくくしている。昼間でも星は輝いているのである。古代の人々は、星座に願いを込めて夜空に祈った。そのことが物語として現在に言い伝えられていることを思うと、心が穏やかになり、感動した。今回の講座では、純粋な気持ちで星座を楽しむことができた。

市が設置したプラネタリウムは世界有数の施設であり、星座を愛する市民団体と共同で運営されていることも知り、自分の暮らす街に新たな誇りを持つことができうれしかった。

